



公益財団法人日本YWCA

2017年度事業報告

事業年度: 自)2017年4月1日 至)2018年3月31日

公益財団法人日本YWCA 2017年度事業報告

事業年度: 自)2017年4月1日 至)2018年3月31日

1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業 (公益目的事業1)

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題をこに若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。プログラムでは座学その他、課題の現場への訪問を重視し、フィールドワークを行い、これらの学習と実践によって国際社会に貢献する次世代の人材養成を行った。

■ひろしまを考える旅2017

日程: 2017年8月9日(水)～11日(金・休) * オプションプログラムは12日(土)まで

主会場: 広島市文化交流会館

テーマ: HIROSHIMAから考える平和の根っこ

参加者: 49名 (中学生4名、高校生15名、大学生2名、社会人6名、海外ゲスト5名<中国3名、韓国2名>、通訳2名、インターン1名、ボランティアリーダー4名、広島YWCA3名、担当委員3名、担当職員2名、日本YWCA職員2名)、その他リソースパーソン20名

「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島の地で実施する2泊3日(オプションツアー参加の場合は3泊4日)のプログラムであり、1971年より毎年夏に広島で実施している。2017年度も全国の中高生・大学生を中心に、留学生、韓国と中国からの参加者等、多文化・多世代が参加し、被爆証言を聴き、広島平和記念資料館見学やフィールドワーク、グループ討議など、参加者は五感を研ぎ澄ませてひろしまの経験を追体験し、平和について話合った。

2017年度のテーマは「HIROSHIMAから考える平和の根っこ」。広島は、廣島・ヒロシマ・広島・ひろしま・HIROSHIMAと、いろいろな文字で表されるが、なぜ違う文字で表現されるようになったのか、その意味や込められた想いを考え、答えを探すプログラムとした。このプログラムを通して、若い世代に原爆の被害の実相とアジア・太平洋戦争における日本の加害の歴史を継承し、市民レベルで平和構築を担うユースを育成する一助となった。

2017年度は公益財団法人ヒロシマ平和創造基金より200,000円の助成を受けて実施した。



プログラムは以下の通り

- 開会、アイスブレーキング、ワークショップⅠ、広島平和記念資料館見学、ワークショップⅡ、交流会、フィールドワーク①広島城周辺市内コース ②中高生が伝えるひろしまコース ③『夏の花』を歩くひろしまコース ④韓国・朝鮮人被爆者の歩みコース、被爆証言、ワークショップⅢ、碑めぐり、ワークショップⅣ、想いを伝える、閉会、オプションツアー（世界遺産 宮島を楽しむ・岩国の米軍基地を訪ねる）

■日韓ユース・カンファレンス2017

日韓ユース・カンファレンスは、日本と韓国の30歳以下のユースが寝食を共にしながら、日本・韓国に共通するさまざまな問題について共に学び、考える草の根の国際交流プログラムである。プログラムの企画・運営は、30歳以下のユースを中心とした実行委員会が担う。

日程：2018年2月23日（金）～26日（月）

会場：大阪市立青少年センター KOKO PLAZA

宿泊先：新大阪ユースホステル

テーマ：私たちの生きづらさを考える～社会的承認と貧困～

参加者：＜日本YWCA＞ユース参加者（30歳以下）14名、スタッフ・引率者5名 計19名

＜韓国YWCA＞ユース参加者（30歳以下）16名、スタッフ・引率者5名 計21名 合計40名

2017年の日韓ユース・カンファレンスは、上記テーマのもと大阪で開催し、基調講演やフィールドワーク、ディスカッションなどを通して、理解と想いを深めた。

基調講演では、金香百合さん（HEAL ホリスティック教育実践研究所所長）による講演を通じて、現代社会の課題とそこに生きる若者の現状を包括的に学んだ。

2日目は終日フィールドワーク。国内最大のコリアンタウン・鶴橋では、在日コリアンの人々がつくりあげ、共に歩んできた地域の歴史と、ヘイトスピーチや政治的権利、教育に関する権利保障の欠落など、現在、地域が直面している課題について学び、日韓のユースにとって、在日コリアンの人々に対する差別や暴力を「私たちの問題」として捉えるきっかけとなった。そして、鶴橋を訪問した後は3つのグループに分かれ、それぞれの地域にある社会的養護の施設を見学し、社会的弱者とされたユースを包摂する「セーフ・スペース」の重要性を知ることとなった。

3日目には、1年後までに日韓のユースが共に実施するアクションプランを立て、参加者はプログラム終了後も、それぞれの場所で「私たちの生き



が共に実施するアクションプランを立て、参加者はプログラム終了後も、それぞれの場所で「私たちの生き

づらさ」を解消するためのアクションを起こしていく決意をした。

2017 年度は、公益財団法人日韓文化交流基金より 851,908 円の助成金と、クラウドファンディングで 166,500 円の協力を得て実施した。

プログラムは以下の通り

➤ <2月23日> 開会、基調講演 講師:金香百合(HEAL ホリスティック教育実践研究所所長)、
ナショナル・レポート(日本 YWCA/韓国 YWCA)

<2月24日> 朝の集い(日本 YWCA)、鶴橋フィールドワーク ガイド:宋悟、金和永(特
定非営利活動法人クロスベイス)、グループ毎のフィールドワーク A/B/C

A:社会的養護の支援・被支援のお話を聞くコース

リソースパーソン:金香百合、森本志磨子(NPO 法人子どもセンターぬっく)、み
かりん(Children's Views and Voices(CVV))

B:日本最大の日雇い労働者街釜ヶ崎を歩き、子どもたちと出会うコース

リソースパーソン:水野阿修羅(釜ヶ崎地域史研究家)、荘保共子(特定非営利活
動法人こどもの里)

C:京都へ少女たちの自立援助ホームを訪ねるコース

リソースパーソン:山本知恵(京都 YWCA)

グループ毎のシェアリング、文化交流

<2月25日> 朝の集い(韓国 YWCA)、各フィールドワークのグループからの学び・感想
の発表、ディスカッション・発表Ⅰ～Ⅲ、アクションプランの作成、「個人レベルでできること」
の書き出し作業、文化交流

<2月26日> 朝の集い(日本 YWCA)、閉会

■南京を考える旅

このプログラムは、「ひろしまを考える旅」の姉妹プログラムとして2007年
に始めた。今回で4回目となる。

日程: 2018 年 3 月 9 日(金)～13 日(火)

開催地:中華人民共和国 南京市

テーマ:平和の道を共に歩こう

参加者: 日本 YWCA 20 名(内ユース 12 名)

中国 YWCA 50 名(ユース 30 名、職員 20 名) 合計 70 名



フィールドワークでは、「南京利済巷慰安所旧跡陳列館」や「侵華日軍南京大虐殺遭難同胞記念館」を訪問した。その他2つの基調講演、グループディスカッションを中心に、中国・日本の参加者の間での体験の共有と分かち合いを行った。全体会では、グループディスカッションの結果を踊り、劇、歌、アートなどさまざまな形で発表。最後に「平和の道を共に歩んで行こう」と、みんなの足跡によって平和の象徴である鳩の絵をつくり上げた。このように、体験とディスカッションを通して、平和をつくり出すユースの人材養成を行った。



プログラムは以下の通り

- <3月9日> 中国・日本の参加者が南京に到着、夕食、アイスブレーキング
- <3月10日> 開会式、基調講演Ⅰ(王山峰「歴史上の日中友好関係と南京大虐殺」)、昼食、フィールドワークⅠ(南京利済巷慰安所旧跡陳列館、中山陵)、グループシェアリングⅠ、夕食
- <3月11日> フィールドワークⅡ(侵華日軍南京大虐殺遭難同胞記念館、国際平和区ジョン・ラーベハウス)、昼食、基調講演Ⅱ(蘇智良「慰安婦歴史の真相を還元する」)、夕食、グループシェアリングⅡ、(日中責任者会議)
- <3月12日> フィールドワークⅢ(南京民族博物館)、昼食、閉会式(グループ発表、「平和の道を共に行こう」)、夕食
- <3月13日> 帰国

■その他国際プログラムへのユースの派遣

インドYWCA ユース・フォーラム

日程: 2017年8月8日(火)～13日(日)

於: インド・デリー

派遣者: 奥山りつ(京都YWCA 会員)

内容: インドYWCAの取り組みの現場訪問、女性に対する暴力に関するパネルディスカッション、「セーフ・スペース」に関する協議、アクションプランの構築



JAI オリーブ収穫プログラム

日程: 2017年10月14日(土)～23日(月)

於: パレスチナ・ベツレヘム周辺

派遣者: 張善花(京都YWCA 職員)

内容: 破壊・土地収奪の脅威に直面するオリーブ畑での収穫作業、現地の活動団体訪問、難民キャンプ訪問、分離壁見学・解説、エルサレム・ヘブロン訪問、パレスチナYWCA訪問・難民キャンプでの活動見学



2. 青少年の健全な心身育成に資する事業（公益目的事業 1）

豊かな出会いの中で、思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象に以下のカンファレンスを実施した。地域や学校をこえた生徒たちの交流や、フィールドワークなどを通して自己を発見し、他者への理解を深め、生きる力を育む一助となった。これらの経験を通して、青少年が地域社会に生きる人たちに目を向け、国際社会の課題を知ることによって、将来、国際的な場で社会貢献活動を担う人材を養成した。

■中高 YWCA 全国カンファレンス

年に一度の地区カンファレンスを開催しているが、3年に一度は全国カンファレンスを実施している。2017年度は、その全国カンファレンスの開催年となった。

日程: 2017年8月2日(水)～4日(金)

会場: フェリス女学院中学校・高等学校(2日)、ホテルニューグランド(3日・4日/横浜)

宿泊: ホテルニューグランド

テーマ: 世界につながる いのちのチカラ

主題聖句: マタイによる福音書 22章 37～39節

参加者: 参加校 21校 165名(生徒 101名、卒業生 8名、教員 29名、リソースパーソン 20名、委員 3名、職員 4名)



「世界につながるいのちのチカラ」をテーマに、初日の基調講演では、渡邊さゆりさん(日本バプテスト神学校教務主任)が聖書のからし種のたとえ話を用いて「痛みや破れ、小さくされた経験が、共感するチカラとなり、痛む人びとの声にならない小さな声を身体と心で聴くことができるのである。それがやがて『世界につながるチカラ』に変えられていく」と語られた。



9つのフィールドワーク&ワークショップで、参加者たちは、課題とそれに取り組む人と出会い、対話し、考える作業を行った。最終日の9つのグループの発表の充実した内容から、誠実な学びがあったことが伺えた。

○参加者の声

「自分のチカラは小さいから何もできない」とあきらめずに、周りの人たちと協力したり、一つの物事を続けることによって、チカラは大きくなることもあると学んだ。そして、周りの人たちに協力してもらえるような姿勢を整えたり、長い時間の努力が必要だと思う。自分で考え、行動できるようになりたい。その行動が、世界中の誰かのためになってほしいと思う。

プログラムは以下の通り

- <8月2日> 開会礼拝 世界YWCA総幹事および世界のYWCAの仲間たちよりビデオメッセージ、講演「世界につながるいのちのチカラ」講師 渡邊さゆり(日本バプテスト神学校教務主任)、各校活動紹介、オリエンテーション、交流会 於:重慶飯店別館、タベのいのり 山本真司(同志社国際中高YWCA顧問)
<8月3日>朝の祈り 沖崎学(金城学院中高YWCA顧問)、フィールドワーク&ワークショップ*、タベの祈り
<8月4日>朝の祈り 江間紗綾香(遺愛女子中高YWCA顧問)、グループワーク(全体会準備)、全体会 各ワークショップ&フィールドワークの発表、ふりかえり、閉会礼拝 藤谷佐斗子(日本YWCA会長)
- フィールドワーク&ワークショップ(9グループ)
 1. ヘイトスピーチを乗り越えようー川崎桜本での出会いとふれあいを通して
川崎朝鮮初級学校・青丘社ふれあい館にて講演・見学、横浜YWCAにて分かち合い
リソースパーソン:孫裕久(日本キリスト教団川崎戸手教会 牧師)
 2. 働くこと、生きることー寄せ場・寿町に暮らす人々
講演「寄せ場と日雇い労働者」「野宿者や貧困のいま」、講話・紙芝居、ディスカッション「私と身近な貧困」、DVD鑑賞「『ホームレス』と出会う子どもたち」、椅子取りゲーム/ディスカッション 於:寿生活館
リソースパーソン:三森妃佐子(日本基督教団神奈川教区寿地区センター 主事)、山本貴史(元野宿労働者)、室田大樹(青山学院高校教員)
 3. クルーズ船に乗って基地と平和を考えよう in 横須賀
座学 於:産業交流プラザ、横須賀軍港めぐり 45分、分かち合い
リソースパーソン:新倉裕史(非核市民宣言運動・ヨコスカ、ヨコスカ平和船団メンバー)
 4. 優しく、たくましくー神奈川宿からみなとみらいへ
神奈川宿見学:台町(神奈川宿関門跡)→本覚寺(アメリカ領事館跡)→旧東海道(各国領事館跡など)→宗興寺(ヘボン施療所跡・お天気井戸)→成仏寺(宣教師住居跡)→神奈川地区センター(高札場復元・宿場模型)→祈りの丘→捜真女学校、ビデオ鑑賞(開港記念館 DVD20分間、「JICAは世界とともに」、グループワーク、国際協カワークショップ 於:JICA
リソースパーソン:中島昭子(学校法人捜真学院 学院長)、高橋文彦(JICA)
 5. ガールズ・ビー・アンビシャスーキリスト教女子教育を支えた人々と横浜
ヘボン碑見学→外国人墓地、講義 於:フェリス女学院中学校・高等学校、指路教会
見学→開港資料館→海岸教会
リソースパーソン:岡部一興(キリスト教研究所協力研究員)
 6. 横浜の関東大震災:命の動線ー恐れから希望へ
講義 関東大震災と「日本災害史上最悪の事態」を繰り返さないためにー「歴史の反省と民族の差別克服と流言への備え」ー今、私達にできること、フィールドワーク 唐沢・平楽方面、「朝鮮人虐殺碑」・中村橋周辺
リソースパーソン:大沢朝美(横浜市立中学校教員)、上庄あかね(横浜市立小学校教員)
 7. 顔をあげて、誇りをもってー澤田美喜の働きに学ぶー
講演、映画鑑賞(澤田美喜の紹介)、聖ステパノ学園・澤田美喜記念館見学、ディスカ

セッション 於: 聖ステパノ学園

リソースパーソン: 小川正夫(聖ステパノ学園理事長)

8. わたしらしく生きよう! ジェンダーってなに? セクシュアリティってなに?

お話し&ワークショップ「ジェンダーってなに?」「セクシュアリティって何?」、映画鑑賞「パレードへ ようこそ」、「男女二分法」「異性愛主義」を探して街歩き、分かち合い

リソースパーソン: 平良愛香(日本キリスト教団 三・一教会 牧師)

9. Girls Rock! “あたりまえ”と私のフツーな関係

フィールドワーク: 開港広場→神奈川県庁→横浜地方裁判所→横浜 YWCA、アイスブレイク、映画鑑賞「ガールズ・ロック!」、ドラムワークショップ、女性と人権に関する講座とワークショップ、分かち合い

リソースパーソン: 西山さつき(NPO法人レジリエンス副代表)、下珠季(GIRLS ROCK TOKYO 代表)、中野菜美・鉄元智美・平松敦子・中野香織(GIRLS ROCK TOKYO メンバー)、倉戸ミカ(横浜 YWCA 会員)、樋口さやか(日本 YWCA 運営委員)

■中高 YWCA 顧問総会・研修会

日本 YWCA に加盟する学校 YWCA の顧問を対象とする研修と、1 年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を行う。

2017 年度は次回開催を計画している「中高 YWCA 全国カンファレンス」の現地調査を兼ねて、開催候補地の一つである長崎で行った。最終日には顧問総会を開催し、1 年間の活動を報告するとともに、次回開催する「中高 YWCA 全国カンファレンス」の日程・開催地について協議した。



日程: 2017 年 12 月 26 日(火)~28 日(木)

会場: 長崎カトリックセンター

参加者: 20 名(13 校より 16 名、日本 YWCA 運営委員 1 名、職員 3 名)、その他
リソースパーソン

研修会では、2 つのフィールドワークを実施した。一つは活水高等学校の平和学習部の生徒の協力を得て、被爆者の体験談、被爆直後の長崎から現在に至る風景の変遷をデジタル地球儀上にアーカイブし、長崎原爆の実相を世界に伝えるためのコンテンツ「Nagasaki Archive」を用いて長崎市内を歩き、次世代の平和教育の手法を体験した。もう一つは潜伏キリシタンが多かった外海の出津・黒崎地区を巡り、その歴史を学んだ。



プログラムは以下の通り

- <12月26日>開会礼拝・オリエンテーション・協議①2017年全国カンファレンスの振り返り ②2020年全国カンファレンスについて、フィールドワーク準備 講師:草野十四朗(活水学院高校教諭)
- <12月27日>長崎アーカイブスを利用してフィールドワークのガイド 草野十四朗・活水中学校・高等学校平和学習部生徒4名、外海地区見学、交流会
- <12月28日>中高YWCA顧問総会、閉会礼拝

■2017年度中高YWCA顧問総会

日時: 2017年12月28日(日・休)9:00~11:00

場所: 長崎カトリックセンター

出席: 11校14名 委任: 20校 欠席: 4校 陪席: 5名

議事

1. 議長・書記の選出
2. 全国中高YWCA顧問会運営規程の確認
3. 前回記録の確認
4. 報告
 - (1)中高YWCA委員会経過報告
 - (2)中高YWCA全国カンファレンス報告
 - (3)2018年度地区カンファレンスの予定
 - (4)『YWCAパスポート』発行
 - (5)日本YWCA報告
 - ①国連女性の地位委員会(CSW) ②ひろしまを考える旅 ③Girls Rock Day Camp ④全国ユースギャザリング ⑤オリーブ収穫プログラムへの派遣 ⑥今後の国際会議・プログラム等の予定
5. 中高YWCA活動報告
6. 協議
 - (1)2018年度委員について
 - (2)次回全国カンファレンスについて
日程:2019年8月8日(木)~10日(土)
開催地:広島
プログラム:日本YWCAのひろしまを考える旅委員会とも情報を共有して企画する。
 - (3)2018年度顧問総会・研修会
日時:2018年12月26日(水)~28日(金)
場所:広島
内容:広島での全国カンファレンス準備

■関東地区中高YWCAカンファレンスリユニオン

関東地区の中高YWCAの生徒・教員が集い、各校の日常の活動を報告し合い、交流を深めた。

開催日:2018年1月6日(土)

会場:東京YWCA会館カフマンホール

出席: 中高生・教員 30 名、東京 YWCA 総幹事、東京 YWCA 職員 1 名、日本 YWCA 総幹事、日本 YWCA 職員 2 名

内容: 礼拝・各校活動報告・交流会

3. 国連機関および国内外のNGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界YWCAとの連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

国際機関への派遣

■ 第 62 回国連女性の地位委員会 (Commission on the Status of Women, 略称. CSW) への出席

会議日程: 2018 年 3 月 12 日(月)~23 日(金)

開催地: 米国・ニューヨーク

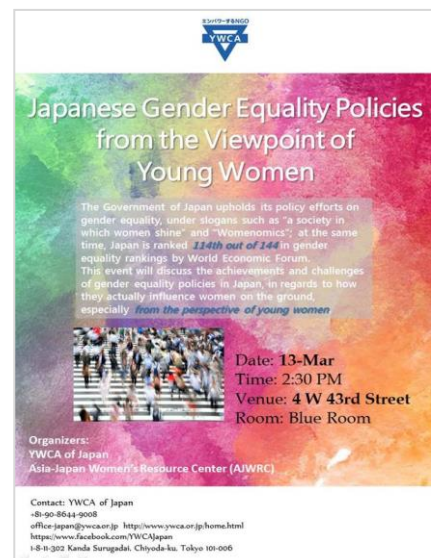
日本 YWCA より派遣日程: 2018 年 3 月 8 日(木)~3 月 19 日(月)

テーマ: 農漁村女性と少女のジェンダー平等とエンパワメントのための課題と機会

日本 YWCA より出席: 7 名(ユース 5 名、職員 2 名)

日本 YWCA より出席した 7 名は、国連での会議に先立ち、世界中の YWCA からの参加者を対象にしたトレーニング、また 30 歳以下の女性たちは UN Women を中心に開催されるユース・フォーラムなどに参加した。世界YWCAのトレーニングでは、アドボカシー活動の方法をはじめ、効率よくソーシャルメディアを利用する方法や、女性の経済的エンパワメントの課題について各国の事例をわかち合った。

3 月 13 日には、アジア女性資料センターと共催し、パラレルイベントを開催。“Japanese Gender Equality Policies, From the Viewpoint of Young Women”というテーマで、教育・労働・災害と 3 つのテーマに関するジェンダー政策と課題について発表した。(於: 4W 43rd Street の Blue room) このパラレルイベントは、60 席あるオーディエンスの席は満席で、途中には席が不足するほど多くの参加者を得た。また参加者からの温かい応答を得ることができ、主催したユースたちは大きな手ごたえを得る結果となった。



18 日には、世界 YWCA のメンバー達と一緒にユースダイアログ (Youth Dialogue) に参加。UN Women の Phumzile Mlambo-Ngcuka さんや Lopa Banerjee さん、国連事務総長青少年問題特使 (Envoy on Youth) の Jayathma Wickramanayake さん、ガンビアの反 FGM 活動家の Jaha Dukureh さんなどの話を聞き、2 回のディスカッションを行った。1 回目は農村女性と少女が直面する課題毎のテーマ。自国の状況説明や個々の体験などを共有し、問題解決への策を考えてた。2 回目はムーブメントの展開方法に関する技術的なものであった。参加者は、CSW への参加準備・現地での発表やディスカッションを通して、リーダーシップトレーニングの機会を得た。

*** その他アドボカシー活動**

- * 機関紙「YWCA」の企画・編集・年 6 回発行
- * 中高 YWCA だより「わーいだよ！」年 2 回発行
- * 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- * 「ヒバクシャ国際署名」を実施
- * ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- * 海外で報道されている日本の憲法等の情報を発信
- * 全国アクション (日本 YWCA Facebook キャンペーン、パブリックコメントや署名運動の呼びかけ、抗議 Fax 送付)
- * 高校生平和大使の世界 YWCA 訪問にあたっての協力
- * 政策提言を必要に応じて実施
- * 衆議院憲法審査会傍聴およびかけと報告
- * 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- * 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等へ出展

< 声明・要望書 >

米国のトランプ政権によるシリアへのミサイル攻撃とそれを支持した安倍政権への抗議声明

4 月 11 日 内閣総理大臣・米国大統領宛送付

「共謀罪」を新設する組織的犯罪処罰法改正案の強行採決に抗議します

5 月 24 日 内閣総理大臣宛送付

日本政府の国連提出の「核兵器廃絶決議案」に抗議し核兵器禁止条約への批准を求める要望書

10 月 13 日 内閣総理大臣・外務大臣宛送付

米国大統領による「エルサレムをイスラエルの首都として認定する」発言に反対することを求める要望書

12 月 12 日 内閣総理大臣・外務大臣宛送付

< 賛同等 >

共同アピール「安倍政権は、朝鮮半島の戦争の危機を力ではなく対話によって解決することをめざせ！」5 月 12 日

「全国保養団体の公的支援を求める要望書」6 月 8 日

3・8 国際女性デー「ウィメンズマーチ東京」3 月 8 日

4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業（公益目的事業 1）

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なトレーニングされたボランティア等の人材を養成した。

■東日本大震災被災者支援

東日本大震災および東京電力福島第一原発事故により被災した女性や子ども達を対象に以下の中長期支援を行った。

* 心と身体の保養の「リフレッシュプログラム」

①地域 YWCA で行われたリフレッシュプログラム

・函館 YWCA

日程: 8 月 15 日(火)～18 日(金)

場所: 大沼公園、函館公園など函館市内

対象: 参加者 6 家族 15 名、スタッフ 25 名

内容: 自然の中で野外遊び、熱帯植物園、農場体験、絵本の読み聞かせなど

・福島 YWCA

日程: 7 月 17 日(月・休)

場所: 山形県寒河江市

対象: 参加者 19 名(おとな・子ども合わせて)、スタッフ 6 名

内容: 自然公園と隣接する温泉施設でリフレッシュ

・東京 YWCA

日程: 7 月 29 日(土)～31 日(月)

場所: 東京 YWCA 野尻湖キャンプ場

対象: 3 家族 12 名

内容: フリーキャンプに参加。水泳、野尻湖花火

・静岡 YWCA: 合同委員会(7 団体)に参加

日程: 8 月 4 日(金)～6 日(日)

場所: 静岡市内(用宗海岸・清沢地区・静岡教会)

対象: 参加者 7 家族 19 名、スタッフ 31 名

内容: 川遊び、清沢神楽、バーベキュー

・名古屋 YWCA

日程: 8 月 18 日(金)～22 日(火)

場所: 名古屋学院大学瀬戸キャンパス、名古屋 YWCA など

対象: 参加者 12 家族 27 名、スタッフ 71 名

内容: 瀬戸の自然を楽しむ、名古屋市内観光、名古屋 YWCA でフェアウェルパーティー

・大阪 YWCA

日程: 8 月 5 日(土)～12 日(土)

場所: 大阪 YWCA シャロン千里、YMCA 阿南キャンプ場



対象:参加者 9 名、スタッフ 10 名(協力者などがこのほかに 47 名)

内容:野外遊び、ホームステイ、大阪観光(万博公園など)

・福岡 YWCA:ぶんぶん∞リトリート実行委員会に参加

日程:7 月 26 日(水)~8 月 1 日(火)

場所:糸島

対象:参加者 3 家族 12 名・子どものみ 3 名、スタッフ 18 名

・熊本 YWCA

日程:2018 年 3 月 25 日(日)~29 日(木)

場所:立神峡里地公園キャンプ場(熊本県八代郡氷川町)

対象:参加者 29 名、スタッフ 延べ 30 名

内容:スタンプラリー、各種野外ゲーム、里地歩き、クラフトタイム(たこ作り、たこあげなど)、ルーテル学院高校生による外遊び、キャンプファイヤーなど

②地域 YWCA にアンケートを実施し、結果を加盟 YWCA 中央委員会で配布。

③リフレッシュプログラムを行っている地域 YWCA 担当者会議(スカイプ会議)

日時:10 月 11 日(水)18:00~19:30

内容:2017 年度夏に行われたリフレッシュプログラムの分かち合い、振り返り、今後の方針など

*被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウス」

横浜・名古屋・神戸の 3 軒を、福島はじめその近隣県の放射能被災下にある家族および単身女性に、交通費の一部を補助し提供。それぞれの地域YWCAIにも協力を依頼。

2017 年度利用者数:19 家族 72 名

横浜のセカンドハウス 6 家族 おとな 10 名、子ども 11 名

名古屋のセカンドハウス 5 家族 おとな 10 名、子ども 10 名

神戸のセカンドハウス 8 家族 おとな 16 名、子ども 15 名



* 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町29-3)の運営

以下を目的として、2017年度も福島を拠点とする事業を展開した。

活動目的:

- ・ 地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・ 福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・ 活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化を図ることを支援する。
- ・ 全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。



<カーロふくしま主催プログラム>

①「カーロふくしま」を拠点とした地域の憩いの場づくり

- ・ 福ふくマーケット 第4回 6月10日(土) 参加者130名、第5回 12月2日(土) 参加者120名
- ・ 癒しの空間作り講座 4月25日(火) 参加者22名、7月24日(月) 参加者11名、8月22日(火) 参加者26名
- ・ ケア工房美いず「こはるさん講座」 7月20日(木) 参加者7名、7月21日(金) 参加者4名
- ・ てづくりのおはなし 11月26日(日) 参加者8名、1月17日(水)参加者7名
- ・ 「カーロふくしまおはなし会 11月22日(水) 参加者7名、12月14日(木) 参加者8名

②地域YWCA主催プログラム

- ・ 福島YWCA 「福島Y'sカフェーわくわくサンサン教室」 7月31日～8月4日 参加者計64名
- ・ 福島YWCA 「ワンコインアロマ講座」 10月19日(木) 参加者5名
- ・ 甲府YWCA 「ピースフェスタ2017」カーロふくしま活動展示協力 8月4日(金) 参加者100名
- ・ 大阪YWCA カーロ訪問 10月1日(日) 参加者17名
- ・ 京都YWCA カーロ訪問 10月28日(土) 参加者5名
- ・ 福島YWCA 「福島Y'sカフェークリスマスのお菓子作り教室」 12月7日(木) 参加者8名

③カーロふくしま参加プログラム

- ・ 「ほよ～ん相談会 2017年夏」 6月3日(土) 於:いわき市生涯学習プラザ 参加者344名、4日(日) 於:二本松市男女共生センター 参加者225名
- ・ 「311 受入全国協議会山梨交流会」 10月14日(土)・15日(日) 於:山梨県小淵沢市 参加者計120名
- ・ 「ほよ～ん相談会 2017年秋」 11月18日(土) 於:郡山市民文化センター 参加者168名
- ・ 「311 受入全国保養団体交流会と講演会」 11月19日(日) 於:郡山市民文化センター 参加者70名
- ・ 「311 受入全国協議会交流会—第2回ほよっと全国交流会」 2月3日(土)・4日(日) 於:二本松市男女共生センター 参加者計140名

④カーロふくしま訪問者総数

4月…49名、5月…34名、6月…174名、7月…93名、8月…116名、9月…33名、10月…68名、11月…38名、12月…187名、2018年1月…38名、2月…28名、3月…20名
合計 878名(月平均73名)

*子どもがふみだすふくしま復興応援体験事業「ふくしまから考える 新しいエネルギープログラム」

福島県在住の高校生が、自然エネルギー普及に取り組む個人・団体を県内外に訪ね、その仕組みや使い方を学び、日々の生活で実際に活かし、社会に広めていく活動。それにより、高校生自身の成長を促すと共に、未来のエネルギーについて考え、より柔軟な社会の発展に寄与することを目的に、2017年6月にキックオフイベント、7月～9月に5回のプログラムを実施した。

このプログラムは、昨年度に引き続き、福島県教育庁社会教育課の「子どもがふみだす ふくしま復興応援体験事業」より助成を受けて実施した。



プログラムは以下の通り

キックオフイベント みんなでエネフェス！ 映画「日本と再生」上映会＆参加高校生募集説明会

6月24日(土)13:00～16:30 於:県庁南再エネビル(福島市)

内容:

第1部 「日本と再生」上映会

第2部 映画を鑑賞してのワークショップ、「ふくしまから考える新しいエネルギーPart3」プログラムの募集説明会

ファシリテーター:山崎求博(NPO 法人「足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ」事務局長

参加者:29名(一般18名、高校生2名、ファシリテーター1名、福島Y3名、委員2名、職員3名)



第1回 7月15日(土)10:30～16:00 キックオフミーティング

於:カーロふくしま

内容:自己紹介、ワークショップなどで興味・関心をもっていることを深め、エネフェスの具体化を考える

ファシリテーター:山崎求博

参加者:10名(高校生5名、ファシリテーター1名、委員2名、職員2名)

第2回 7月30日(日)10:30～16:00 ソーラークッカーを作ろう

於:カーロふくしま

内容:ソーラークッカー作り

講師:西川豊子(ソーラークッカー研究家) ファシリテーター:山崎求博

参加者:11名(高校生5名、講師1名、ファシリテーター1名、委員1名、福島YWCA会員1名、職員2名)

第3回 8月19日(土)10:30～16:00 ワークショップ・エネフェス準備

於:カーロふくしま

内容:エネフェス当日をイメージし、準備をスタート

ファシリテーター:山崎求博

参加者:9名(高校生4名、ファシリテーター1名、委員2名、職員2名)

第4回 9月2日(土)9:00～17:00 再生可能エネルギーフェスティバル(=エネフェス)

於:生活協同組合コープふくしま コープmartいずみ店

来場者:150名(高校生5名、講師等5名、com7300委員会委員ほか日本YWCA関係者5名、福島YWCA会員2名、31総会期com7300関係者ほか5名、職員3名を含む)

講師:西川豊子 ファシリテーター:山崎求博

第5回 9月9日(土)10:30～17:00 ふりかえりと土湯発電所見学

於:カーロふくしま、土湯温泉バイナリー及び小水力発電所

内容:エネフェスの準備と当日をふりかえって総括。地熱エネルギー体験ツアーに参加。

ファシリテーター:山崎求博

参加者:9名(高校生5名、ファシリテーター1名、委員2名、職員1名)

■熊本地震被災地支援

2016年4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震の被災者への中長期活動支援は、以下の方針のもと、2016年7月1日～2020年3月31日 熊本YWCAを拠点として実施。

- ①子どもたちの心のケアのためのデイプログラムと春のわくわくキャンプ(福島と熊本の子どもたち対象)
- ②安心して活動できる拠点としての建物の補強
- ③被災した留学生や会員の支援
- ④長期的な活動の担い手の育成や研修(特に若い人材養成のため)
- ⑤熊本で被災した関係団体への支援

■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

* 南アジア洪水被災者支援募金

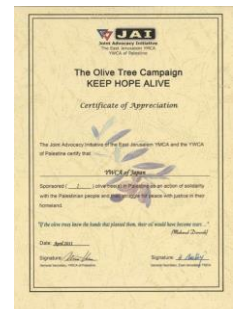
8月以来、インド、ネパール、バングラデシュが豪雨による洪水災害に見舞われた。日本YWCAは、ネパールYWCA、バングラデシュYWCAと連絡を取り、支援活動に協力して緊急送金。両YWCAの洪水の被災者支援活動を支援した。ネパールYWCA、バングラデシュYWCAが実施した被災者支援活動は以下のとおり。

- ・食料配布
- ・被災者のための学用品配布
- ・住居支援
- ・家屋などの再建・一時シェルターの設置
- ・生業支援



* パレスチナYWCAの活動支援およびオリーブの木キャンペーン

パレスチナYWCAが実施している「パレスチナの難民の子どもたちの学びと成長を支援するプログラム」や「女性の自立のための職業訓練」への支援およびパレスチナにオリーブの木を植林する「オリーブの木キャンペーン」に参加し、日本国内で支援を呼びかけた。



5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業（公益目的事業1）

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集会や会議等の社会貢献活動プログラムを日本YWCAに加盟する全国の地域YWCAおよび学校YWCAと、日本YWCAが加盟する世界YWCAに連なる各国YWCAとの協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野にたつ人材が育成される。

■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うための研修会

* 日本YWCAの公益事業の企画会議(運営委員会)

2017 年 9 月 16 日(土)～18 日(月・休) 於:京都 YWCA

2018 年 1 月 20 日(土)～21 日(日)、3 月 3 日(土)～4 日(日) 於:日本 YWCA

*** 全国規模の社会貢献事業の企画会議(加盟 YWCA 中央委員会)**

5 月 27 日(土)～28 日(日) 於:国立オリンピック記念青少年総合センター

*** 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修(地域YWCA会長会)**

5 月 26 日(金) 於:国立オリンピック記念青少年総合センター

*** 全国の地域の YWCA で実施する社会貢献事業の協働(LA: Local Action)**

ユースのための憲法カフェ 協働:東京・横浜 YWCA

会員のリーダーシップ養成を考える～3市 Y 合同合宿～ 協働:京都・神戸・大阪 YWCA

全国ユーススキルアップ研修・交流プログラム 協働:熊本・大阪・長崎・福岡・沖縄・京都・神戸 YWCA

Girls Rock Day Camp(ガールズ・ロック・デイキャンプ) 協働:横浜・熊本・福岡・広島・甲府 YWCA

沖縄とわたしたち・平和とあなた in かながわ 協働:横浜・湘南・平塚 YWCA

YWCA 平和の守り人～地域のピースマップを作ろう!～ 協働:函館・広島・札幌 YWCA

*** ボランティアと共に全国規模の社会貢献事業を推進するための YWCA の職員研修**

YWCA 職員研修 ステップ I

日時: 2017 年 5 月 20 日(土)14:00～22 日(月)15:00

会場: 20 日 京都 YWCA 21 日 神戸 YWCA 22 日 大阪 YWCA 千里

宿泊先: 山西福祉記念会館

参加人数: 17名(大阪 YWCA 大宮保育園 6 名、大阪 YWCA シャロン千里 2 名、大阪 YWCA3 名、神戸 YWCA1 名、呉YWCA1 名、名古屋YWCA2 名、京都YWCA2名)+担当総幹事 2 名(中山羊奈大阪YWCA 総幹事、尾崎裕美子日本YWCA総幹事)

内容: <20 日>開会、オリエンテーション、自己紹介(中山羊奈)、YWCA の組織と活動—日本 YWCA の全国ネットワーク/世界 YWCA のネットワーク(尾崎裕美子)、活動の現場をみる—京都 YWCA 見学(山本知恵京都YWCA総幹事)、YWCA で働くとは—先輩職員に聞く(堀部碧京都YWCA幹事)①、夕食兼交流会
<21 日>日曜礼拝へ出席 日本基督教団神戸イエス団教会 活動の現場をみる—神戸 YWCA 見学(西本玲子神戸YWCA総幹事)、YWCA の歴史(鹿野幸枝大阪YWCA代表理事/日本YWCA理事)/キリスト教基盤について(平山芳子神戸YWCA代表理事)

YWCA で働くとは—先輩職員に聞く(原田雅子 神戸 YWCA 幹事)② YWCA で働くとは—幹事職・専門職に分かれて研修、参加者同士の交流 <22 日>活動の現場をみる—大阪 YWCA シャロン千里 見学、YWCA で働くとは—先輩職員に聞く(川崎一代 大阪 YWCA 幹事)③ ふりかえり、閉会 (尾崎裕美子)

2017 年度YWCA職員研修ステップ II

日時: 2018 年 1 月 24 日(水)12:30～26 日(金)13:30

会場: 24 日 東京 YWCA 会館(御茶ノ水) 24 日 東京 YWCA 板橋センター

25 日 東京 YWCA 国領センター 26 日 東京 YWCA 会館(御茶ノ水)

参加者:8 名(京都YWCA2 名、東京YWCA3 名、大阪YWCA1 名、日本YWCA2 名)

担当総幹事 2 名(能美祐子東京YWCA総幹事、尾崎裕美子日本YWCA総幹事)

宿泊先: 在日本韓国YMCA

内容:

プログラム:

<24 日> 開会、オリエンテーション 能美祐子、板橋センター見学とお話 グループワークについて 土岐祥子(東京YWCA社会福祉事業部統括責任者)、夕食兼交流 於:未来食堂

<25 日> 朝のつどい、YWCAのキリスト教基盤についてのワークショップ 増田琴(日本基督教団経堂緑丘教会)、クッキングハウス訪問 お話:松浦幸子、東京YWCAまきば保育園見学 お話:大沢千佳子(園長)

<26 日> 朝のつどい、YWCAの組織&歴史 尾崎裕美子、ふりかえり、閉会 尾崎裕美子

YWCA 新幹事研修 ステップⅢ

日時: 2017 年 8 月 21 日(月)14:00~24 日(木)14:00

会場・宿泊先: 東京YWCA野尻キャンプ場

参加人数: 4 名(東京 YWCA2 名、神戸 YWCA1 名、日本 YWCA1 名)+担当総幹事 2 名(山本知恵京都YWCA総幹事、尾崎裕美子日本YWCA総幹事) 講師 金香百合(ホリスティック教育実践研究所所長)

内容:

<21 日> 開会、オリエンテーション(尾崎裕美子)、野尻キャンプ場オリエンテーション・キャンプサイトめぐり(柳下史織)、YWCAの特長を生かした魅力ある活動・事業と対人援助者としての組織と活動(金香百合)

<22 日> YWCAの特長を生かした魅力ある活動・事業と対人援助者としての組織と活動(金香百合)、野尻のタベ―会員との交流

<23 日> YWCAの特長を生かした魅力ある活動・事業と対人援助者としての組織と活動(金香百合)、幹事レポート発表・幹事とは・幹事論文の書き方・幹事に求められること(山本知恵)

<24 日> ふりかえり(尾崎裕美子)閉会(山本知恵)

総幹事研修 ステップⅤ

日時: 2017 年 5 月 29 日(月)12:30~15:20

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 302 号室

内容: 職場のメンタルヘルスについて

①職員・会員と共に働く責任者として知っておきたいこと

②責任者自身のメンタルヘルス

講師: 増井起代子さん(東京逋信病院精神科 臨床心理士/ルーテル神学大学大学院講師)

* 国際プログラムへの派遣を通してのリーダーシップトレーニング

アジア地域会議

日程: 6 月 28 日(水)~30 日(金)

於: ヤンゴン YWCA(ミャンマー)

派遣者: 藤谷佐斗子(日本 YWCA 会長)、尾崎裕美子(日本 YWCA 総幹事)、小笠原純恵(日本 YWCA 幹事)

参加 YWCA: 世界 YWCA、ミャンマー・マレーシア・シンガポール・バングラデシュ・インド・フィリピン・スリランカ・ネパール・タイ・台湾・



韓国・日本 YWCA

内容:

- ・ 各国 YWCA によるプレゼンテーション(YWCA の概要紹介、「武力紛争と女性に対する暴力」に関する活動、「女性の社会・経済的エンパワメント」に関する活動)
- ・ 世界 YWCA 新加盟費基準案に関する協議
- ・ 共通の課題に関する協議(武力紛争と女性に対する暴力に関して、女性の社会・経済的エンパワメントに関して、各国 YWCA の協働の可能性に関して)
- ・ 分科会(若い女性ミーティング、紛争を経験した若い女性たちとの懇談、ミャンマー・バプテスト同盟の医療従事者・縫製職人トレーニングセンター訪問)

インド YWCA 総会

日程:2018 年 2 月 11 日(日)~13 日(火)

於:インド・ゴア St. Joseph Vaz Spiritual Renewal Centre

参加者:約 300 名

テーマ:Women against Violence(暴力に立ち向かう女性たち)

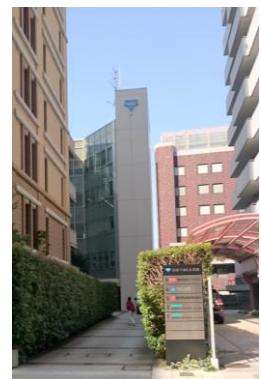
派遣者:吉田亜希(日本 YWCA 副会長)

内容:基調講演「暴力に立ち向かう女性たち」、パネルセッション「予防」「実施」「社会復帰」、決議採択・会則改定、ユースセッション、行動計画の審議、会長・運営委員選挙など



6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業 1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南 4-8-8 の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。



以上